

市長とのおしゃべり会 会議録

日 時	令和7年8月23日（土）19時～20時	
場 所	へきなん福祉センターあいくる デイルーム2	
出席者	人数	7人
	碧南市	小池市長、危機管理課長
テーマ	防災対策（危機管理）について	

要旨

災害時の被害想定や防災対策について市長から資料説明をした後、防災対策についての意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- ・長年防災ボランティアをする中で避難所生活の大変さを感じた。在宅避難の準備や避難経路を考えておくことが大切。自分たちで生きていく知恵を学ぶ。防災キャンプなど遊びながら備えると良い。
- ・市民全体に防災意識を広げるためにどうしたらいいのか考えている。
- ・防災講座は時間を使って参加することはハードルが高いが、カフェなど普段利用する場所で開催することで、参加者以外にも偶然耳にした人が興味を持つきっかけになる。カフェなどの団体と協力することで普段と違う参加者が来るのではないかな。
- ・情報を広めるためには学校へ伝えることが効果的と言われている。まずは子どもに考えてもらうことで親も考える。
- ・防災マップを学校へ掲示しマッピングすると、状況を理解できて良いのではないかな。
- ・防災の活動をして、意味を理解せずに実施していることがあるため説明が大切。
- ・継続が大切だが、活動をして、単発で終わってしまう。
- ・助産師同士で防災について話し合っている。お産難民が起きたらどうなるのか考えている。病院がどうにかしてくれると思っている人が多い。
- ・他人事と感じている人が多いため、自分事に感じるように教育することが重要。
- ・液状化するということは地下に水があるため、井戸を掘ると良いのではないかな。普段は花壇活動などのまちづくりで活用する。水が確保できることで在宅避難も楽になる。

（市長総括）

- ・経験で意識を高めそれを継続することが大切。
- ・今日のような話を周りに伝えてほしい。まずは知って自分事にしてもらう。自分の身は自分で守ることを考えてもらいたい。